

### 三井住友銀行・環境商品開発者

地球温暖化への危機感が強まる中、企業経営にとって「環境」は重要なテーマとなりつつある。大企業を中心に二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)排出削減などの動きは進んでいるが、中小企業は「まだこれから」というところも多い。藤崎さんはこうした中小企業が環境経営に取り組みやすくなるような、新たな金融商品の開発に携わっている。

「他社と差別化を図りたい、取引先の大企業から求められた、など理由はさまざまだが、中小企業の経営者も『環境に配慮した経営をしたい』という意識は強い。ただ、目先の経営を

人  
NOW

ふじさき 藤崎 有美さん (34)

## 中小の環境経営を支援



優先して対策が後回しになるケースも多い」

「融資を通じて環境経営への取り組みを後押ししたい」と考え、公的機関による環境認証を取得していれば貸出金利や事務手数料が優遇される金融商品を

相次いで開発。省エネ設備の導入や企業が持つ環境対応商品のアピール方法など、環境経営全般についてアドバイスも行っている。

「消費者は地球に優しい商品

を求め、企業も取引先を環境で

ふるいにかける時代。環境経営は生き残るために必要だ、ということを経営者に知ってもらいたい」

大学院修了後、国際的な環境基準である「ISO」の審査会社などに勤務。「環境経営の導入をより積極的にサポートしたい」と考え、銀行に転職した。海外には「CO<sub>2</sub>排出を負債と見なす」と公言する金融機関も出てくるなど、融資などを通じて企業の意識を変えようとする機運も盛り上がっているという。

かつて「地球環境は私が守る」と決意した少女は今、「環境経営が当たり前となる社会」の実現を目指している。

(竹岡伸晃)